

チャック・レイニー・マスタークラスセッション報告

前野知常

2018年11月25日（日）、アメリカより著名なベーシスト、チャック・レイニー氏を招き、マスタークラスセッションを行った。

<内容>

1. トークライブ

3限（13：00～14：30）

司会進行：前野知常

通訳：高尾直樹



チャックが最近行っているセミナーの内容や、著書の内容等に関して語ってもらった後、前野、高尾からの質問に答えていただいた。

今までのキャリアの中で印象に残っているのは、ロバータ・フラック、アレサ・フランクリン、カーリー・サイモン、マリーナ・ショウ、クインシー・ジョーンズ、スティーリー・ダンなどの名前を挙げていた。

また、楽曲に向き合う際、オリジナルの演奏がある場合はまずちゃんとコピーして理解した上で、自分のスタイルに合わせてアレンジしていくことが大切であるが、自分のスタイルを作るのにはチャックのレベルでさえ何年も

かかるものだと語っていた。

2. 学生バンドクリニック

4限（14：40～16：10）

課題曲

- ・ 「Rock Steady」 アレサ・フランクリン
- ・ 「Street Walking Woman」 マリーナ・ショウ
- ・ 「I Want You」 マーヴィン・ゲイ

事前に R&P のベースの学生を3名ピックアップし、自分でメンバーを集めて練習した結果をクリニックしてもらった。



なかなか難易度の高い楽曲であったが皆頑張っており、チャックからは特に Vo と Cho に関して賞賛の言葉をいただいた。

3. ミニライブ、学生質疑応答、サイン会
5限（16：20～17：50）

- ・ミニライブでは学生バンドにチャックが加わって演奏してもらうという、貴重な体験ができた。



- ・ 学生質疑応答



- ・ サイン会、記念撮影

